

2012（平成24）年度における経営の概況

設立3年目となる2012年度におきましては、約1,000万円の経常利益を目標に、引き続き「施設整備・維持管理事業」、「技術関連事業」、「研修事業」の3つを柱に事業を実施しました。

「施設整備・維持管理事業」では、横浜市水道局から川井浄水場の運転管理業務と西部第一給水維持課管内給水装置工事設計審査・完了検査業務を受託し、安全で安心な水道水の供給に寄与しました。

「技術関連事業」ではち、国際関連事業のうち、研修員受け入れを5件（コンサルティングに伴う研修員受入2件を含む）、コンサルティング事業を7件受託・実施するなど着実に事業拡大を進めてまいりました。

国内事業では、東日本大震災の復興の一助となるべく、宮城県山元町をモデルとした国土交通省の「東日本大震災被災中小都市における上下水道施設等の一体的運営管理手法の普及方策に関する検討業務」などに取り組みました。

「研修事業」では、水道技術継承研修として8つのカリキュラムを前期・後期各1回実施しました。

また、ご要望のカリキュラムで実施するオーダーメイド研修も6件受託・実施しました。

その結果、2012年度決算におきましては、目標を達成することができました。今後も、横浜市及び当社が有する技術力やノウハウを活かしながら事業を推進してまいります。